

地域公共バス「池 07 系統」運行支援事業について

1. 事業概要

平成 23 年 3 月から江古田二又と池袋駅西口間を結ぶ「池 07 系統」を、区民の利便性の向上のため、池袋駅東口のサンシャインシティ方面まで延伸し、区は、社会実験として運行支援事業を開始した。社会実験では、乗車状況や利用者の意識調査から事業評価を行い、平成 28 年度に公共交通会議による運行継続の承認を受け、現在、区の地域公共バス運行支援事業補助金交付要綱に基づき継続運行している。

2. 運行評価について

本系統の継続運行については、平成 28 年度に開催した本会議において、過度な財政負担を避けるため、評価検証のモニタリングを引続き行い、2 年連続して運行継続基準を満たしていない場合、運行継続フローのとおり廃止を含めた検討を行うとしている。

(1) 運行継続基準

■評価指標①
収支率
収入に対する運行経費の割合

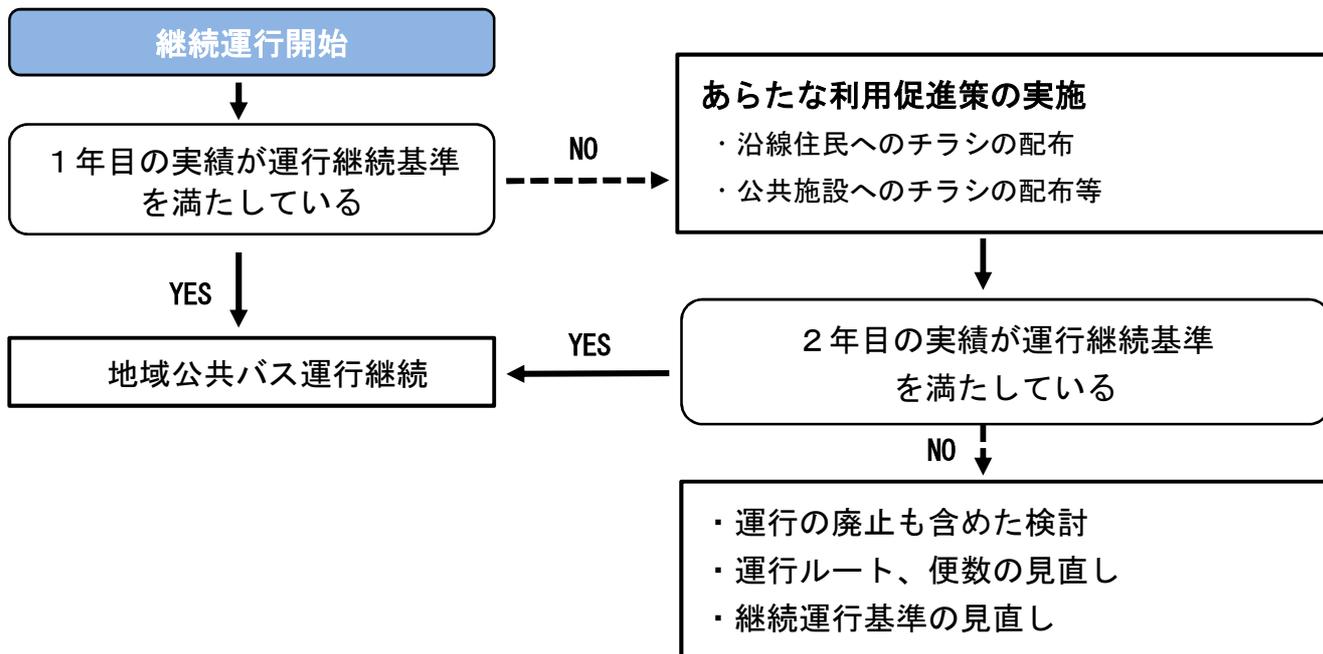
■運行継続基準
40.0%以上
ただし、シルバーバス利用を考慮し、収支率が 40%を下回った場合でも、「1 便当たりの利用者数」が「20.0 人 以上」であれば、基準を満たすものとする。

■評価指標②
満足度
利用者の 4 施設（健康プラザ・区役所・あうるすぽっと・サンシャインシティ）への行きやすさに対する満足度

■運行継続基準
50.0%以上
4 施設平均の満足度（満足、やや満足）が 50.0%を下回らない

かつ

(2) 運行継続フロー



3. 令和2年度の対応について

例年6月から7月に乗車人数や利用者の満足度等について、一週間全便調査及びアンケート調査を実施している。令和2年度についても、運行評価を行うため同時期に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の発生状況から乗客や調査員の安全面を考慮したこと、また、実施したとしても平常時と状況が異なり、評価に必要なデータが収集できないことから現時点で調査等は未実施であり、今後の実施についても見通しが立たない状況である。

(1) 評価指標①：収支率 **40.7%**（収支率については前年度決算額で算出）

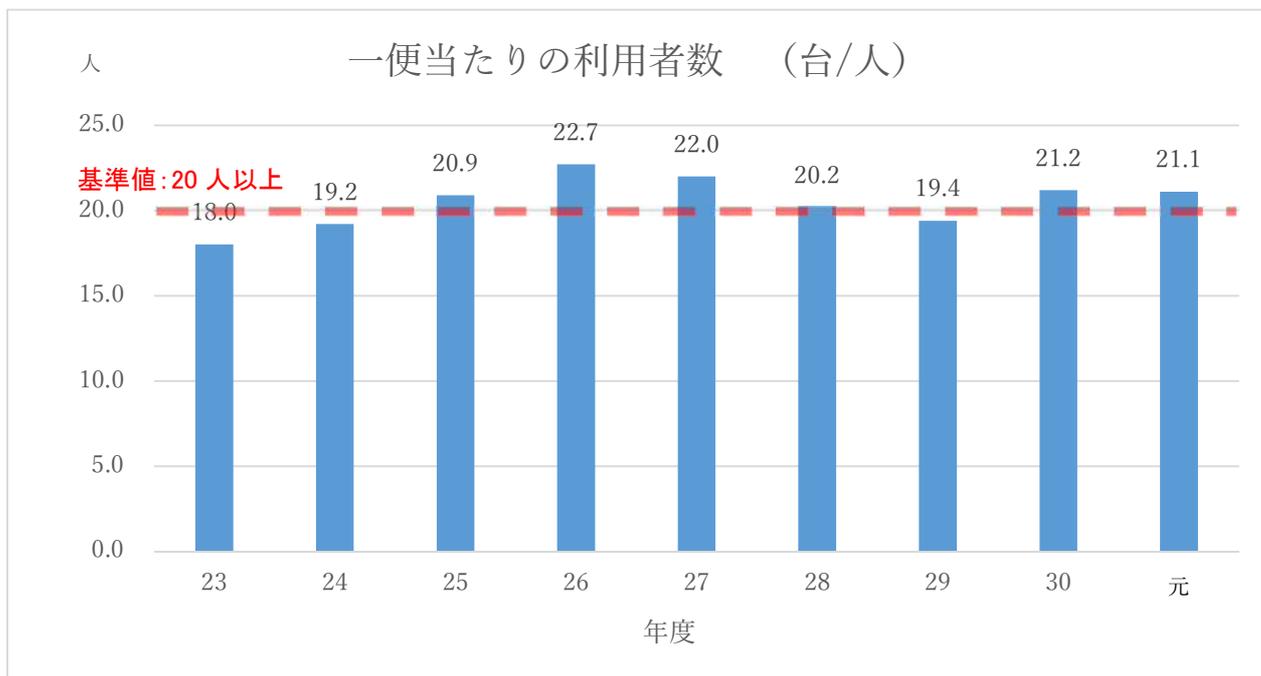
収支率の推移（平成23年度～令和元年度）

（単位：千円）

年 度	収入 ①	支出 ②	その他支出 ③	収支率(%)	区補助金	年間乗車人 数(人)	利用者一人当 りの区補助額 (円/人)
	・現金 ・ICカード ・シルバーパス 等	運行経費 その他支出 (工事費等) を除く	・工事費 ・車両償却費 ・ラッピング 費用等	収入/支出② =①/②	(② + ③) - ①	※一週間全便 調査による推 計値	区補助金/年間 乗車利用人数
23	11,013	27,138	7,741	40.6	23,866	104,780	228
24	10,868	26,877	11,274	40.4	27,283	111,592	244
25	11,455	27,164	5,395	42.2	21,104	121,472	174
26	11,768	27,637	6,634	42.6	22,503	132,028	170
27	12,505	31,123	14,689	40.2	33,307	128,128	260
28	11,111	27,061	648	41.1	16,597	117,520	141
29	11,363	27,306	644	41.6	16,587	113,048	147
30	11,777	27,768	1,154	42.4	17,145	123,396	139
元	11,982	29,427	1,966	40.7	19,410	122,680	158

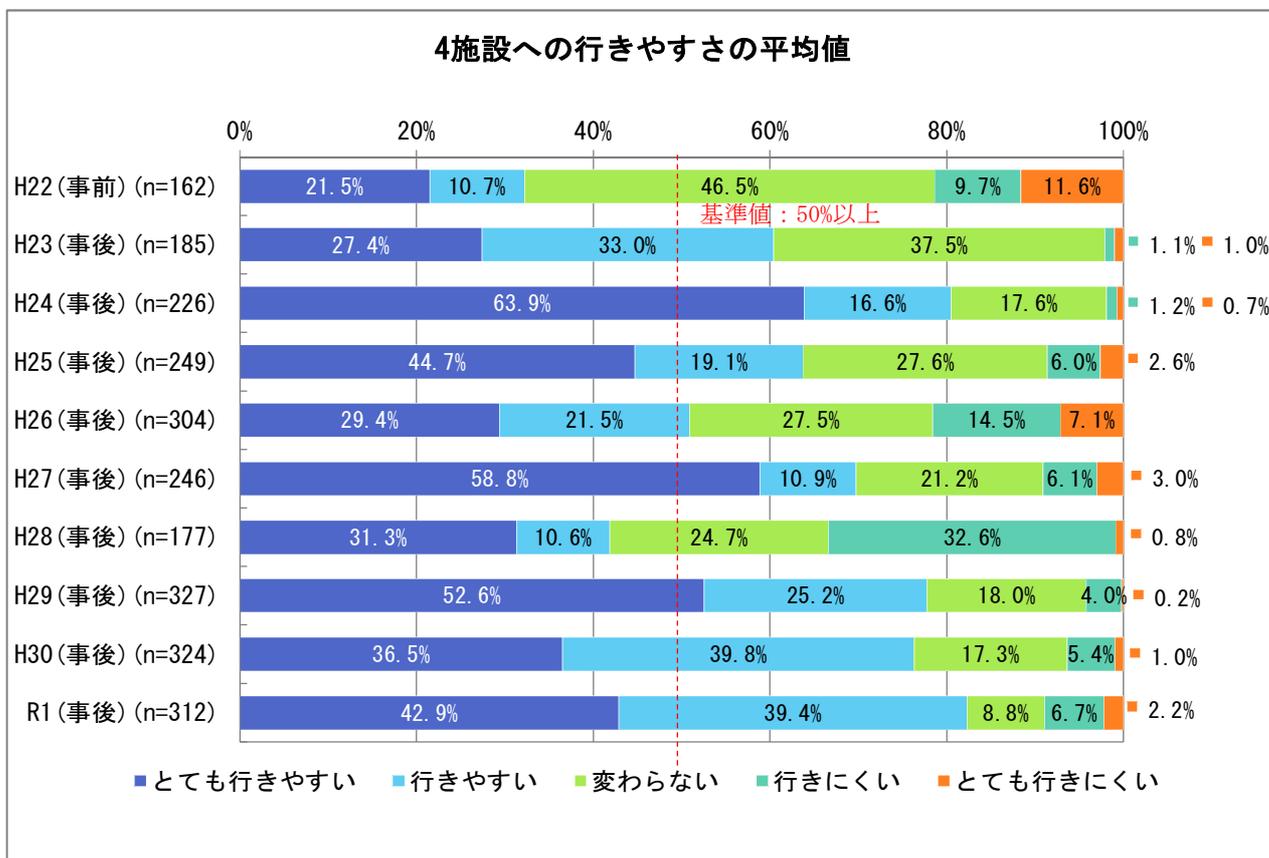
(2) 参考

A) 評価指標①：1便当たりの利用者数_21.2人(令和元年度調査)



B) 評価指標②：満足度_82.3% (「とても行きやすい」「行きやすい」の計)

東池袋方面の公共施設や商業観光施設 (健康プラザ・豊島区役所・あうるすぽっと・サンシャインシティ) への行きやすさに対する利用者の満足度



4. 結論

令和2年度の全便調査、アンケート調査は現時点で未実施であるが、状況の変化とともに実施に向けて検討するが、来年度については、収支率とこれまでの経緯を含め運行継続としたい。